

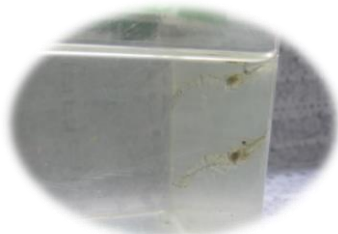
2019年9月22日（日）淡水エビ・カニ教室

【学習会の内容】

淡水で暮らすエビやカニの仲間に実際ふれながら、種類や暮らし方などを学び、淡水で暮らす生物の多様性を学びます。



【学習会の様子】



テナガエビ



ヌマエビ



NPO法人トンボと水辺環境研究所の川口先生から、淡水に住むエビとカニの飼育方法の違いについての話を聞き、実物のテナガエビとヌマエビを観察しました。その後、エビやカニを捕まえるための仕掛けづくりをしました。

最後に、川口先生より

「今、もらったエビ達をこれから、自分で飼っていく。小さくても生き物、責任をもって世話をする必要がある。飼うためには色々道具を揃えるだろう。その道具は、おごつかいやお年玉なんでもどんなお金でもいいから、自分のお金で用意するように。それが、責任をもつことにつながるんだ」

そして、お父さん、お母さんにも

「簡単にお金をださないようにしてください。子どもが欲しいものがあるなら、家のお手伝いをしたご褒美にするとか、そのような方法をとっていただけたらと思います。それが生き物を大切にすることを育てます」と、お話がありました。



左側は犬山市の五条川でとれたサワガニ。  
右側は静岡県三浦半島でとれたサワガニ。



両方とも同じサワガニですが、色が全然違います。  
この違いは、育った環境によっておこるそうです。

参加者からは「もやし」という愛称をもらっていました。